

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

キャンドルサービスも素敵でした

スクールキャンプ終わる

みんなが楽しみにしていた「スクールキャンプ」が終了しました。これで今年度の行事は、全て無事に終わることができました。今回のスクールキャンプも、小学部1年生からの全員が学校で宿泊し、普段とは違った2日間を過ごすことができました。

はじめの式の中で、私は次のような話を子ども達にしました。

『これから、みんなが楽しみにしていたスクールキャンプが始まります。去年と同じように楽しく過ごせるとは思いますが、誰かに楽しませてもらうのではなく、みんなの力でみんなが楽しめる2日間にしてほしいと思います。

そのためには、グループのみんなでしっかりと協力してください。力を合わせなければならぬ場面がたくさんあります。それができたら、本当に楽しいスクールキャンプにできると思います。』

子ども達は、私が改めてそういう話をするまでもないほ

どとても良く頑張っていました。上級生は下級生のことを気遣い、下級生は上級生の指示を聞き、どのグループも良くまとまっていたように思います。

その成果はいろいろなところで現れていたと思います。グループごとに調理した夕食や朝食も、大変良くできました。特にカレーは、それぞれのグループの特徴が出ていた上にとっても美味しく、感心しながら食べさせてもらいました。キャンドルサービスのときのスタンプも、これまでに楽しく盛り上がりました。それは計画の段階から、みんなを楽しませようという気持ちで準備をしていたからだと思います。



グループごとにカレーづくり



たくさんアサリを捕りました



みんなすごい食欲でした

このように、グループとして自分達のことだけでなく全体のことを考えるということは、とても意味のあることだと思います。それぞれに自分の立場を自覚した行動が随所に見られ、今回のスクールキャンプも大変素晴らしかったと思います。



楽しいゲームで盛り上がりました

保護者の皆様

4日(金曜日)にはお休みにもかかわらず、保護者会にご出席くださりありがとうございました。

来年度の保護者代表理事に決まりました宮田様・大久保様には、何かとご面倒をおかけすることとは思いますが、よろしく願いいたします。

また、今年度理事をしてくださった舟木様・中山様には大変お世話になりました。理事の方をはじめ、保護者の皆様のご支援・ご協力のおかげでここまで来ることができました。今年度は残りわずかになりましたが、今後ともよろしく願いいたします。

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

⑦各班のスタントが始まります

低学年の子ども達も、自分にできることや任されたことを一生懸命にやっていました。

「自分が誰かの役に立っている」と感じる事ができる経験は、本当に大切なものです。今回のスクールキャンプでは、誰もがそれを経験できたのではないかと思います。この経験を大切にして、残り少ない3学期ですが、この1年間のまとめをしっかりと頑張りたいと思います。

スクールキャンプ(2)

昨日に引き続き、スクールキャンプのようすをお知らせします。すでにホームページにアップされていますので、それぞれの場面のようすはご承知の方が多いと思います。子ども達の楽しそうなようすが、こうした写真から少しでも伝わればと思います。

今回のスクールキャンプの楽しさは、いつもの遊びを通じた楽しさとは違って、仲間と力を合わせることや、

自分に任せられた責任を果たすことなど、与えられた課題を成し遂げることで感じる事ができる楽しさではないかと、私には感じられました。

食事の準備もスタントも、グループごとにとっても良くまとまっていました。小規模校の良さである「縦のつながり」が生かされていたからではないかと思えます。上級生は、下級生に指示したり全体を考えた行動をとっていました。



①これからキャンプが始まります



④食事の準備が始まります



⑧素晴らしい寸劇に大きな拍手が



②強い風の中で潮干狩り



⑤包丁・刃物を使うのは大変です



⑨グループ対抗のゲームに夢中



③こんなにアサリを捕りました



⑥みんなで分担・協力しています



⑩最後はフルーツバスケット

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

「昼コーナー」はいつも大人気

「5つの気」について

私が大事にしたいと思っ
ていることの中に「5つの気」と
いうのがあります。昨年の校
長室便りでも書きましたので、
ご記憶の方もおられると思
います。この「5つの気」とは、
「元気・やる気・根気・本気・
勇気」のことです。今年度も
残り少なくなり、最近よくこ
のことを考えています。

「元気」は、全てのもとにな
る大切なものです。日本では
もちろん、海外での生活とな
るとなおさらです。ただ健康
な状態を指すのではなく、元
気良く学習・生活に取り組ん
でいるかということです。気
になっているのは、子ども達
のあいさつや返事の声の大き
さです。元気の良いあいさつ
や返事ができる子どもが、限
られているように感じるから
です。あいさつ・返事は、基
本的な生活習慣の中で、最も
大切なものではないかと思
います。それを身につけてい
るかどうかは、やがて大きな差
になって現れてくると思いま
す。どんな場面でも、大きな

声で気持ちの良いあいさつや
返事ができ、きちんと自分の
思いを話すことができるよう
に、もっとしっかりと働きか
けていかなければならないと
思います。

「やる気」については、子ど
も達はとても良いものを持っ
ていると思います。いろいろ
なことに対し、いつも意欲的
に取り組んでいます。結果の
善し悪しだけで判断するの
ではなく、何にでもやる気を前
面に出して頑張れる人は、き
つと自分の力を大きく伸ばし
ていくことができると思いま
す。

三つ目の「根気」は「後片
付け」とも関わっています。
何でも最後までやり遂げるこ
とで、根気を身につけてい
くことができるからです。やり
っ放しでは、せっかくやる気
で取り組んでいても、自分の力
にできる部分はわずかなもの
になってしまいます。そう考
えると、根気強く取り組むと
いうことは、とても大切なこ
とだと思います。

この「元気・やる気・根気」
は「3つのあ」ととても深く
関わりがあり、しっかり意識
させたいと思います。

天井ボード落下防止ネットを取り付けてもらいました

運動会が終わってから、大成建設様のご協力で「天井ボード
落下防止ネット」を取り付ける工事をしていただきました。天
井にボールが当たり、ボードが落下するということが、これま
でに2回ほど発生しています。幸いにも、子ども達に被害は出
ていませんでした。

今回ネットを取り付けていただいたことにより、万一天井に
ボールが当たるがあっても、ボードの落下を防ぐことがで
き安心して遊ぶことができるようになりました。

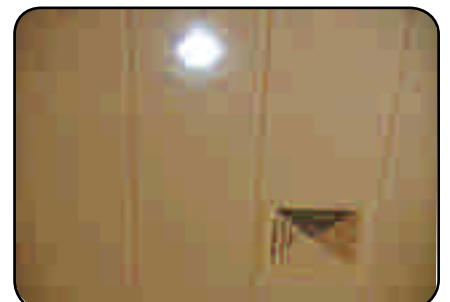
大成建設様には、これまでも施設・設備充実のために大変
お世話になっています。今回も授業に支障が出ないよう休日に
作業をしてくださいました。心からお礼申し上げます。



今年度最後の「身体測定」



作業のようすと取り付けられた「天井ボード落下防止ネット」



校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

緑の元気が少し弱ってきました

「5つの気」その(2)

昨日に続いて「5つの気」の残り2つについて考えます。

4つ目は「本気」です。この言葉もいろいろな場面でよく使われます。この「本気」という言葉には「自分の全力を注いだかどうか」という意味があると私は思っています。

自分で自分のことを考えてみるときに、2つの見方があるように思います。1つは「他人と比べた自分」という見方です。これが最も分かりやすい方法かもしれませんが、ただ比較の対象を誰にするかによって、自分自身が大きく変わることにもなります。

もう1つの見方は「自分と比べた自分」という見方です。これは分かりにくいかもしれませんが、他人と比べてどうかではなく、自分に恥ずかしくない自分であったかどうかを考えることではないかと思えます。そのときに「自分は全力を注いだか」という見方が役に立つのではないのでしょうか。出せる力を惜しんだ場合でも、他人との比較では満

足を得られることだってあります。小規模校では、他人との比較以上に、自分の全力を出すことの大切さを指導することが必要だと思います。

最後は「勇気」です。勇気を身につけるといのは、非常に難しいことだと感じています。なぜなら「自信」と深くつながっているからです。ではどうすれば自信を身につけられるかと考えると、何かを挑戦し成し遂げるといふことを経験しなければなりません。小さなことや身近なことでも「やったからできた」といふ経験を積み達成感を得ら

れない限り、自分から挑戦する勇気はなかなか身につけられるものではありません。

私は子ども達に、ぜひ「勇気」を身につけてほしいと願っています。そのためにも、いろいろなことに対し「元気・やる気・根気・本気」で取り組んでほしいと思います。

変化の激しいこれからの時代を生きていく上で「5つの気」を身につけることができたら、どんなに素晴らしいだろうと思います。学校は、そのための工夫と努力をしてくかねばならないのだと考えています。

今年度最後の「参観日」、お待ちしております

明日は今年度最後の参観日です。お忙しい折とは思いますが、ぜひご出席くださいますようお願いいたします。

今回も授業後に「ミニミニ音楽発表会」を行います。回を重ねる度に、子ども達の表現力が伸びているように感じます。明日もきっと素晴らしい演奏を披露してくれると期待しています。

保護者の皆様には、これまで多くのご支援ご協力をいただきました。心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともよろしくようお願いいたします。



1・2年生が列になってマラソン



ミニミニ音楽発表会では素敵な演奏を披露してくれると思います